

平成27年度 患者満足度調査の実施結果について

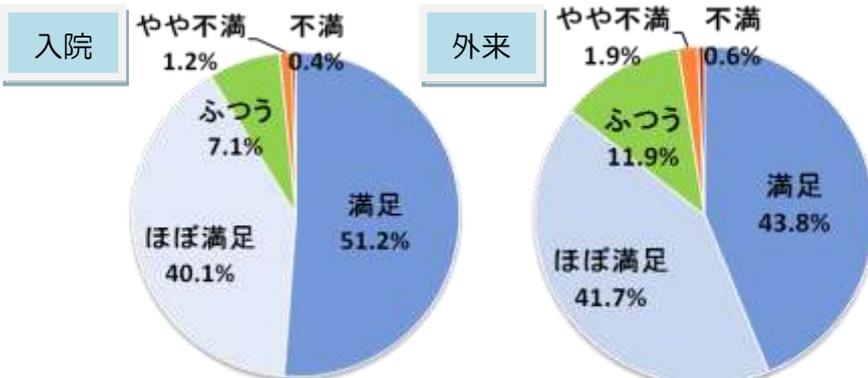
当院では、患者さんの率直な声をお聞きして、より良い医療サービスを提供することを目的とした『患者満足度調査』を年1回実施しております。調査期間中は多くの患者さんにご協力をいただき、ありがとうございました。以下に調査結果の一部をご紹介します。

◎調査概要

区分	実施期間	回収状況
入院	平成27年12月7日(月)～20日(日)14日間	261枚(282枚配布、回収率92.6%)
外来	平成27年12月16日(水)、17日(木)2日間	500枚(507枚配布、回収率98.6%)

◎調査結果(抜粋)

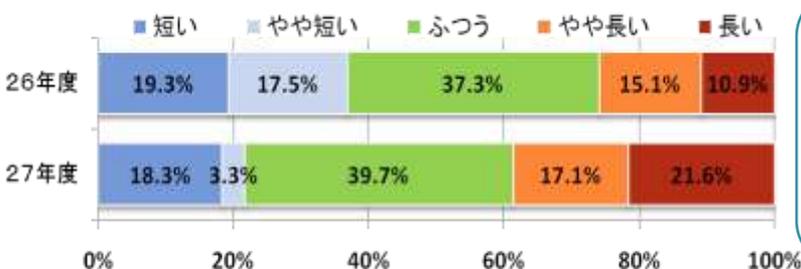
○「全体として、この病院に満足していますか？」



入院で91.3%、外来で85.5%の患者さんから、「満足・ほぼ満足」の回答をいただきました。

昨年度と比較すると、入院で1.7ポイント増、外来で3.8ポイント増という結果となりました。

○「待ち時間をどう感じましたか？(外来)」



満足度が向上した一方で、待ち時間については「長い・やや長い」と感じた患者さんが38.7%でした。

昨年度と比較すると12.8ポイント悪化しました。

アンケートの結果は、医師、看護師、事務等、各部門で確認し、サービス改善に取り組んでいます。今後とも、患者さんに満足していただける病院を目指し、サービス向上に努めてまいります。

平成28年度も引き続き！

看護の日イベント「多摩南フェス」を開催します！！

日時：平成28年5月9日(月)13:00～15:00

場所：ココリア多摩センター7階 「ココリアホール」

<イベント内容>

・測定コーナー

- ◆骨年齢測定
- ◆物忘れ相談プログラム

・相談コーナー

- ◆健康・病気に関する相談(医師)
- ◆食事・栄養に関する相談(栄養士)
- ◆薬に関する相談(薬剤師)
- ◆生活に関する相談(看護師)

・講義コーナー

- ◆乳がんの自己検診方法
(乳がん看護認定看護師)
- ◆感染予防の為に手洗いについて
(感染管理認定看護師)

予約不要！どなたでも、自由に参加いただけます。

今月の医療 膝の手術 (UKAとTKA) について

整形外科

変形性膝関節症や大腿骨顆部の骨壊死のような疾患に対して、内服・関節注射・運動療法(リハビリテーション)等の保存的加療(手術以外の治療)をしても、疼痛が緩和されず著しく日常生活に支障をきたしている様な方には、人工膝関節置換術という手術的加療が選択されることがあります。

その人工膝関節置換術には人工膝関節全置換術(TKA)と単顆置換術(UKA)があります。

どちらの手術方法も、今までの疼痛(特に歩行時の荷重時痛)を緩和することが一番の目的です。人によっては膝の動きが良くなることも期待できます。

人工膝関節 全置換術(じんこうしつかんせつ ぜんちかんじゅつ) Total Knee Arthroplasty (TKA)

膝関節をすべて人工物に置き換える手術で、日本で行われている人口膝関節置換術の多くを占めます。



人工膝関節 単顆置換術(じんこうしつかんせつ たんかちかんじゅつ) Unicompartmental Knee Arthroplasty (UKA)

関節軟骨と傷んだ骨の表面を切除して、**関節の一部(半分)のみを人工関節に置き換える**手術です。特に、大腿骨顆部の骨壊死のような疾患に適応となります。

関節全体を置き換える全置換術に対して、**傷んだ部分のみ(片側、ほとんどの場合が内側)を置き換える**のが単顆置換術で、手術時間、出血量、術創(傷)の大きさ、術後疼痛の程度、術後リハビリテーションでの回復時期等、**全置換術に比べると単顆置換術の方が低侵襲(体に負担が少ない)**な傾向にあります。

片側のみの関節炎

両側に進行した関節炎

UKA 術後のX線写真



部分置換術

傷んだ膝関節の
一部を置き換えます

全置換術

傷んだ膝関節
全体を置き換えます



側面



しかし、この単顆置換術の手術をするためには、幾つかの条件(適応)があり、どなたでも手術できるというわけではありません。当院では慎重に適応を判断し、この手術が相応しいという患者さんには、当手術を行っております。

整形外科医員: 小林 望

☆当院は紹介制の医療機関のため、まずかかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。